

平成26年度「大崎塾」に参加しての感想

塾生：T・Kさん

初めて「大崎塾」に参加させていただきました。参加の動機は単に“おもしろそう！”
ピーンとくるものがありました。遠足のように大崎市のいろんな所に行けるのが楽しそう
だと思いました。

参加して大正解♪♪♪毎回大崎市の魅力満載なのです。

コーディネーターの大和田先生は日本に初めてLOHAS（ロハス）
を紹介した著名な方なのに、田舎者の私にも気さくに話しかけて下さい
ました。



「蔵元・一ノ蔵」で酒粕パックの体験をした時、先生を囲んでみんな女学生のノリで白
くなった手を見せ合い楽しかったです。



4回シリーズでどの回も興味深い内容でしたが私が一番印象に残ったのは鳴子の「エネ
カフェメタン」です。



「エネカフェメタン」ではお家から持って来た生ゴミを原料に嫌気性微生物の発酵によって作られたバイオガスをエネルギー源としてお湯を沸かし、えのきだけ茶をいただきました。



驚愕！今まで捨てていた生ゴミが燃料になるって凄すぎ。マイナスがプラスの資源になるなんて夢の実現だと思いました。



また、作物栽培に必要な液肥(循・MEGURU)にも利用できるのです。日本は天然資源が乏しく、石油は後40数年で枯渇、石炭は…。と教えられ将来に不安を抱いていましたが、これこそ希望の光！とっても明るい気持ちになりました。講師の東北大学准教授多田千佳先生はアイドル顔負けのキュートさ満載の理系女！多田先生の笑顔におぼちゃんの私もノックアウト！

多田先生は2020年東京オリンピックの聖火をバイオマスエネルギーであるバイオメタンで燃やしたい！と活動なさっています。実現したら世界初の再生可能エネルギーによって

燃える新聖火になります。是非ぜひ実現していただき、日本中の子ども達に感動を与えて欲しいと願っています。わたし達も応援しましょう！

「大崎塾」は参加してただ楽しいだけでなく普通の生活では見過ごしてしまう「大崎の宝の山」を再認識できました。次も企画して頂けるなら真っ先に手を挙げたいと思います。

